

# 三重大学における 研究インテグリティ・研究セキュリティに 関する取組

国立大学法人三重大学  
学長補佐 (危機管理担当)  
研究・社会連携統括本部 准教授  
知財ガバナンス部門 部門長  
研究インテグリティ部門 副部門長  
大学院地域イノベーション学研究科 准教授

東京高等裁判所 専門委員 (知財訴訟), 知財高裁, 東京・大阪地裁担当  
一般社団法人 大学技術移転協議会 理事

経済産業省 安全保障貿易自主管理促進アドバイザー  
輸出管理 Day For Academia 実行委員長

狩野 幹人  
([kanou@crc.mie-u.ac.jp](mailto:kanou@crc.mie-u.ac.jp))

令和7年度「研究セキュリティ・インテグリティについての意見交換会」(第1回) / 2025年12月4日(木)

# 本日本話すること

- 2004（平成16）年からの 産学連携／知財／技術移転に係るマネジメント，その数年後からの研究／産学連携リスクマネジメント（⇒ 研究インテグリティに係るマネジメント）の経験に基づいてお話しします。
- できる限り，担当者（プレイングマネージャーを含む。）の「目線」でお話しします!!

● 「研究インテグリティ」「研究セキュリティ」に関する現時点における三重大大学の理解

● 三重大大学における体制

● 「研究インテグリティの確保」に関する三重大大学の運用

● 「研究セキュリティの確保」に向けた三重大大学の取組

# 本日は話すること

## ● 「研究インテグリティ」「研究セキュリティ」に関する 現時点における三重大学の理解

★ どの様な理解に基づいて体制構築／運用を進めてきた（進めている）のか。

三重大学における体制

「研究インテグリティの確保」に関する三重大学の運用

「研究セキュリティの確保」に向けた三重大学の取組

# 現時点における三重大学の理解

## 「土台」「床下」と「中2階」が存在する

### 研究セキュリティへの対応 (大学などの組織) ▷ 国家安全保障

- 安全保障輸出管理 (外国との共同研究, 外国人研究者・留学生受入時)
- 契約締結と遵守 (共同研究, MTA, NDA)
- 知財・技術移転の適切なマネジメント
- 秘密情報・営業秘密・データの適切な管理
- サイバーセキュリティ対策 など (の組合せ)

### 適切な利益相反マネジメント

- 研究者個人からの開示 (申告) に基づく

### 利益相反への留意

- 共同研究／兼業などにおける  
責務相反回避への留意／個人的利益の開示
- 「ディオバン事件」に相当する事態の回避 など

### 研究インテグリティへの対応 (研究者個人) ▷ 研究公正

- 不正行為 (捏造・改ざん・盗用) への対応
- その他不正行為 (二重投稿・不適切なオーサーシップ) への対応 など

**研究(者) の健全性／公正性／透明性／誠実さ など**

大学・研究機関などの組織に対して

- 輸出管理に係る「チェックシート」提出
- 利益相反に係る自己申告
- 兼業に係る許可申請
- 共同研究／奨学寄附金に係る手続 (契約を含む。)
- 知的財産の届出 など

- ② 組織として、
- 適切に推進できる
  - 研究者個人や組織が国内外からの不当な影響を受けること (研究(者) が軍事に巻き込まれることを含む。) を回避できる
  - 「新たなリスク」に気づきクライシス化しないよう的確に対応できる

- ① とくに、  
「透明性」「誠実さ」に基づく行為

# 本日本話すること

「研究インテグリティ」「研究セキュリティ」に関する  
現時点における三重大大学の理解

## 三重大大学における体制

- ★ 部署：専門部署を設置？ 1つの既存部署をコアに連携？ 既存部署がフラットに連携？
- 委員会：設置する？ しない？
- ポリシー／規程：策定する？ しない？
- マネジメント体制：本部集約型？ 部局分散型？ など

「研究インテグリティの確保」に関する三重大大学の運用

「研究セキュリティの確保」に向けた三重大大学の取組

# 研究・社会連携に係るマネジメント側の現状(1)：関連組織&スタッフ

## 研究・社会連携統括本部

- ◆ 研究力の強化および産学官連携の推進
- ◆ 本部長＝理事（研究・社会連携/グローバル化担当） 副学長

### 知財ガバナンス部門

- ◆ 知的財産の創出・管理・活用の中核
- ◆ 部門長（学長補佐（危機管理担当），  
准教授，専任）

副部門長（准教授，兼任）  
助教（専任） 1名  
研究員 4名  
事務補佐員 3名

### 研究インテグリティ部門

- ◆ 研究インテグリティ・セキュリティの統括
- ◆ 部門長（理事（研究・社会連携/グローバル化担当） 副学長） 副学長）

副部門長（知財ガバナンス部門長）  
助教（専任） 1名  
事務補佐員 1名

### 産学官連携部門

- ◆ 産学官連携や地域連携の推進・スタートアップ支援

研究推進部門 6名  
URA室 5名



## 研究・地域連携部

社会連携チーム 13名

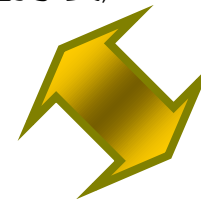
- ◆ 外部資金の受入・契約手続
- ◆ 特許共同出願契約・MTA・NDA手続
- ◆ その他，知的財産統括室の業務の支援など

研究推進チーム 8名

- ◆ 科学研究費補助金の申請・受入手続
- ◆ 研究インテグリティ部門の業務の支援
- ◆ カルタヘナ法対応など

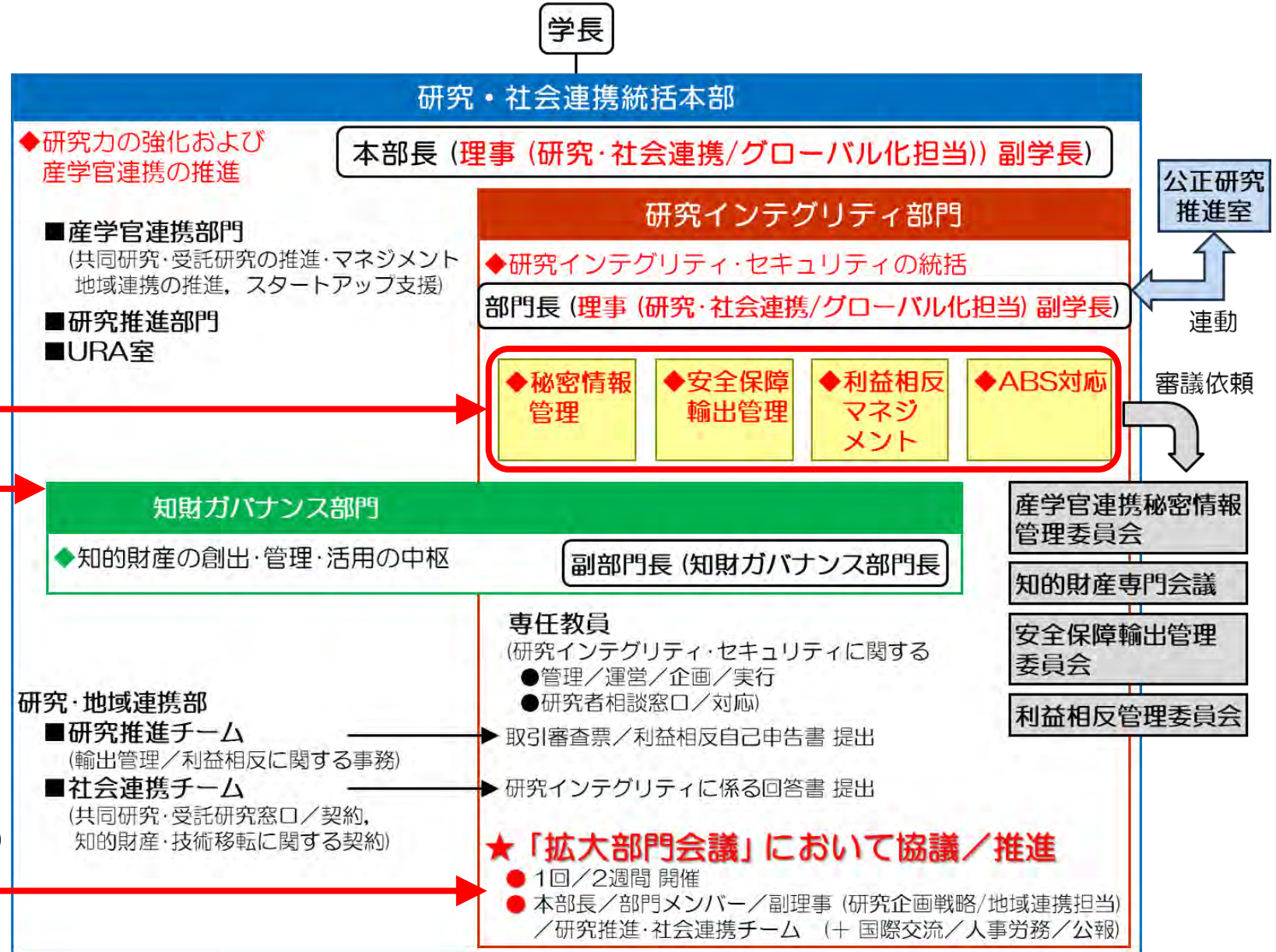
### 理系教員数

医学系研究科 360名  
工学研究科 96名  
生物資源学研究科 99名  
計 555名



# 研究・社会連携に係るマネジメント側の現状(2)：体制&運用

- 執行部とマネジメントの場が近い
- 一元的にマネジメント
- 教員1人に対し多面的にマネジメント
- 例えば,  
該非判定結果OKでも,  
第三者から提供されたもの/  
第三者と共有するものは輸出NG
- マンパワーの問題  
⇒ 運用への落とし込み  
⇒ 濃淡管理/機微度に応じた管理
- 研究セキュリティの観点からも
- ★ 「全学横断」対応が必要なため
  - 担当理事/すべての関係部署(担当者)が参加
  - すべての  
共同/受託研究, 寄附金 (RI/RS)  
知的財産届出 (RS)  
兼業 (RI/RS)  
プレスリリース (レピュテーション)  
などについて多面的に確認/協議
  - 判断不可の案件 ⇒ 執行部



# 本日は話すること

「研究インテグリティ」「研究セキュリティ」に関する  
現時点における三重大学の理解

三重大学における体制

 「研究インテグリティの確保」に関する三重大学の運用

★ 「研究インテグリティ」⇒「研究インテグリティ」「研究セキュリティ」となったとき、  
大学は、研究者に対して何をどの様に働き掛けるのか？

「研究セキュリティの確保」に向けた三重大学の取組

# 三重大学における「組織のインテグリティ」も含めた運用

## ◆ 研究などの「開始時」

### ■ 通常の「学術研究」

- ▶ 研究者自らが「公正研究」に基づき適切に研究を開始（推進）。
- ▶ まずは、研究者自らが、研究計画／内容に基づき、安全保障輸出管理を含む適切な対応／手続。

### ■ 「共同研究」（とくに営利機関や海外機関との共同研究）／「兼業」

- ▶ 「学外者」が確実に存在。
- ▶ 一方で、マネジメント側が研究計画／内容を把握することは困難。  
(臨床研究では、(生命倫理)に係る審査のため、詳細な研究計画／内容が必要となるが)  
それ以外の研究分野においては「フワッ」と始まることが多い(?)  
⇒ 必要最低限「基本的情報」について、マネジメント側が把握できる仕組みを。

## ◆ 研究成果の「公表時」

### ■ 「学術論文」「学会発表」などによる公表

- ▶ 研究者自らが「公正研究」に基づき適切に公表。

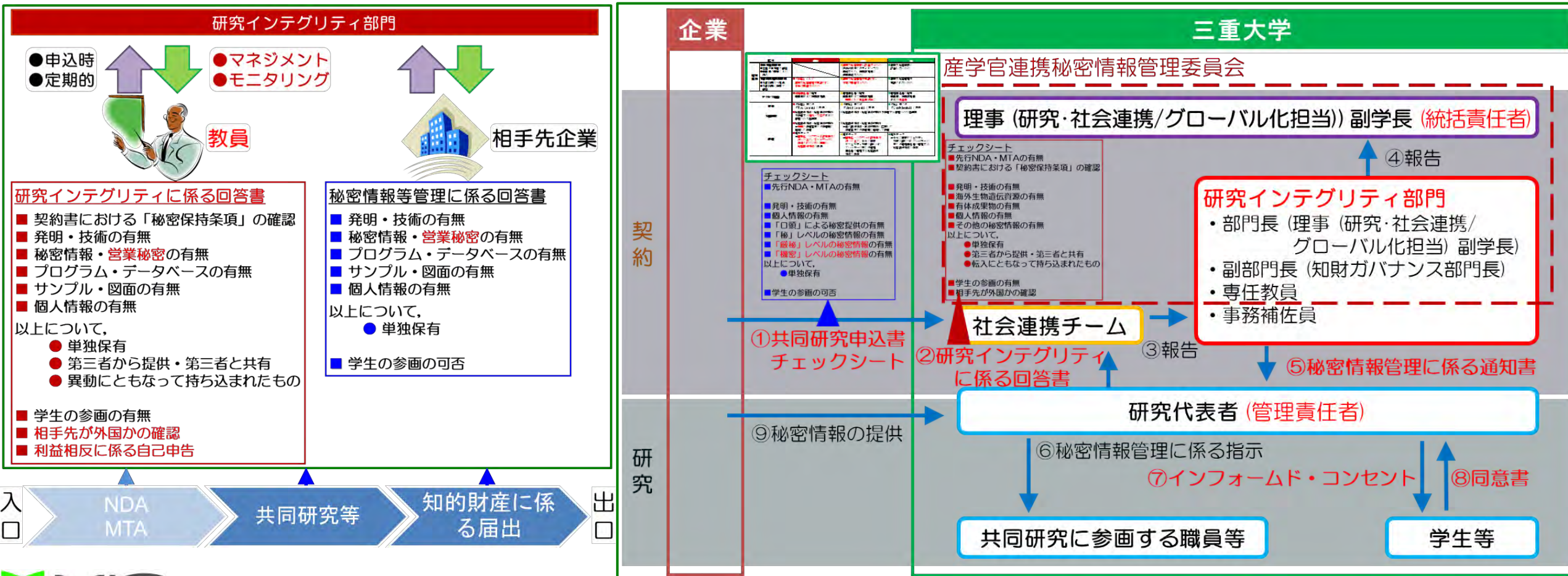
### ■ 「特許出願（公開）」「プレスリリース」などによる公表

- ▶ 「大学」としての公表になる。
- ▶ 「研究内容」「取組内容」の「適切さ」を確認できる「最後の砦」。  
(NG：特許出願 奨学寄附金に基づく共同研究／共同出願（「贈収賄」のおそれ）。  
プレスリリース 営利機関の「販売促進」。「景品表示法」に抵触するような内容。)
- ▶ 「特許出願」「技術移転」については、「研究セキュリティ」への留意／対応も!!

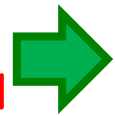
# 「共同研究」などにおけるマネジメント

◆ 2015 (平成27) 年度 文部科学省「産学官連携リスクマネジメントモデル事業 (技術流出防止マネジメント)」を基盤として開始。都度改正。

- 研究者：必要最低限の「枠組み」について理解 ⇒ 自律，研究インテグリティの確保へ
- マネジメント側：必要最低限の「基本情報」を把握



教員 (研究代表者) からの  
「研究インテグリティに係る回答書」



企業等からの「共同研究申込書」

共同研究申込書			
国立大学法人三重大学共同研究規程に基づき、下記のとおり共同研究を申し込みます。			
記			
研究題目			
研究期間	令和 年 月 日	から	令和 年 月 日 まで
研究の目的及び内容			
申込者の主な事業内容	①業種		
	②資本金	約	万円
	③従業員数	約	人
文部科学省等からの要請による研究インテグリティ・研究セキュリティの確保のため、申込者に関する右の質問への回答をお願いします。	代表者が外国人ですか？		
	役員の方の3分の1以上が外国人ですか？		
	議決権の3分の1以上を外国人・外国政府等・外国法人等が占めていますか？		
研究担当者	所属・職名	氏名	
申込者側研究代表者	所属		
	職名		
三重大学側研究代表者	所属		
	職名		
直接経費 ※1			0 円
うち、担当教員の人件費相当額 ※2			円

該当する方を選択してください。 A 今回の契約は「新規契約」である、又は 今回の契約は「変更契約」であるが前回の契約時から下記の回答内容に変更がある (若しくは前回の契約時の回答内容が不明) B 今回の契約は「変更契約」であり、前回の契約時に回答した内容から変更はない	A = すべての質問に回答してください B = 秘密情報管理回答は終了です
質問1 本研究及び本研究の成果を実施する際に、「これまで(研究開始日以前)に三重大学での教育研究活動を進めて創出又は取得した」下記のものを使用しますか?それぞれについて回答してください。 *一つもなければ「無」を選択して次に進んでください。 特許 (申請中のものも含む)	○=下欄に必要事項を記入してください
出願番号・公開番号・登録番号のいずれか	○=下欄に必要事項を記入してください
(無知の) 秘密情報は営業秘密	○=下欄に必要事項を記入してください
秘密情報は営業秘密の概要	○=下欄に必要事項を記入してください
右体成果物 *海外通信費は除く	○=下欄に必要事項を記入してください
海外通信費	○=下欄に必要事項を記入してください
右体成果物の概要	○=下欄に必要事項を記入してください
取得費	○=下欄に必要事項を記入してください
海外通信費の概要	○=下欄に必要事項を記入してください
個人情報	○=下欄に必要事項を記入してください
*個人情報保護法第2条第6項に定義される「匿名加工情報」は除く	○=下欄に必要事項を記入してください
使用することに対する情報提供者の同意	
質問2 本研究及び本研究の成果を実施する際に、「第三者(研究参加機関以外)から受領・購入した又は第三者と共有する」下記のものを使用しますか?それぞれについて回答してください。 *一つもなければ「無」を選択して次に進んでください。 特許 (申請中のものも含む)	○=下欄に必要事項を記入してください
出願番号・公開番号・登録番号のいずれか	○=下欄に必要事項を記入してください
(無知の) 秘密情報は営業秘密	○=下欄に必要事項を記入してください
秘密情報は営業秘密の概要	○=下欄に必要事項を記入してください
右体成果物 *海外通信費は除く	○=下欄に必要事項を記入してください
海外通信費	○=下欄に必要事項を記入してください
右体成果物の概要	○=下欄に必要事項を記入してください
取得費	○=下欄に必要事項を記入してください
海外通信費の概要	○=下欄に必要事項を記入してください
個人情報	○=下欄に必要事項を記入してください
*個人情報保護法第2条第6項に定義される「匿名加工情報」は除く	○=下欄に必要事項を記入してください
使用することに対する当該第三者の同意	
質問3 本研究及び本研究の成果を実施する際に、「他機関からの転入に伴って持ち込んだ」下記のものを使用しますか?それぞれについて回答してください。 *一つもない場合、他機関からの転入経緯がない場合は「無」を選択して次に進んでください。 特許 (申請中のものも含む)	○=下欄に必要事項を記入してください
出願番号・公開番号・登録番号のいずれか	○=下欄に必要事項を記入してください
(無知の) 秘密情報は営業秘密	○=下欄に必要事項を記入してください
秘密情報は営業秘密の概要	○=下欄に必要事項を記入してください
右体成果物 *海外通信費は除く	○=下欄に必要事項を記入してください
海外通信費	○=下欄に必要事項を記入してください
右体成果物の概要	○=下欄に必要事項を記入してください
取得費	○=下欄に必要事項を記入してください
海外通信費の概要	○=下欄に必要事項を記入してください
個人情報	○=下欄に必要事項を記入してください
*個人情報保護法第2条第6項に定義される「匿名加工情報」は除く	○=下欄に必要事項を記入してください
使用することに対する当該機関の同意	
質問4 本学の学生(学位研究として従事する者に限る)又は本学で勤務しているが本学と雇用関係のない研究員等(相手先から受け入れる共同研究員等を除く)を参画させますか?下記でその人数(研究補助程度の者は除く)を回答してください。 *いなければ「無」を選択して次に進んでください。	人数 新規に参画させる学生全員の「共同研究等への学生参画にあたっての承認書」を社会連携チームに学内簿で提出してください。
また、新規に参画させる「学生」の人数	
質問5 研究参加機関の中に、外国の法人・機関はありますか?下記でその国名を回答してください。 *なければ「無」を選択して回答を終了してください。	外国の法人・機関がある場合、「チェックリスト(国際共同研究)」を社会連携チームに学内簿で提出してください。
国名	

# 本日お話しすること

「研究インテグリティ」「研究セキュリティ」に関する  
現時点における三重大学の理解

三重大学における体制

「研究インテグリティの確保」に関する三重大学の運用

## ● 「研究セキュリティの確保」に向けた三重大学の取組


- ★ 【個人的意見 (?)】 大前提として,
  - ▶ 研究者には、「ライフワークとする研究 (≡ 企業におけるコアコンピタンス)」と「それ以外の研究」とをキチンと「切り分け」てもらふことが重要。
  - ▶ ライフワークとなる研究 ⇒ 共同研究／共同出願／PL／SU (／留学生も) 不可。
  - ▶ (良い意味でも、悪い意味でも)「意固地」にならないように。泥沼に陥らないように。

# そもそも、研究者が把握／管理しているものは???

## ◆ 「産学連携」「知財」「技術移転」に始まる20余年の経験から

- あくまで「一般論」です。「私見」も含まれます。研究者をディスるものではありません!!
  - ▶ 研究内容／(およその?) 研究の方向性・計画／研究の成果・データ など
  - ▶ 技術については???
    - 具体的な性能／精度・純度／再現性／スケールアップへの対応／特許法上の発明（とくに進歩性，産業上の利用可能性）／コスト・時間などを正確に把握・管理できている？
    - 共同研究／特許出願（発明相談）／兼業などの際に，相手によって引き出されることが多いのでは???
- ≠ 技術の移転／流出  
≡ 知識（知）の移転／流出

## ◆ 現在の「新たなリスク」＝「(外国への) 意図せぬ技術の流出」

- 
- 安全保障輸出管理における「技術の提供」の「技術」については，わかりやすい。（解釈が必要にはなるが）「貨物・技術の合体マトリクス表」と「にらめっこ」。

## ◆ 「(外国への) 意図せぬ知の流出」が懸念される場面は???

- 「具体的な相手とのやり取り」が生じる場面。  
(代表例) 共同研究，兼業，(知財) 技術移転 ⇒ 「研究セキュリティ」への留意／対応が必要

# この様な活動が対象になり? 課題になる???

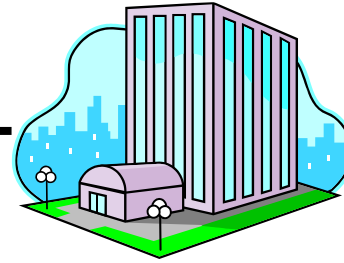
例えば、大学発スタートアップとの兼業 (技術アドバイザー・コンサル)

本務



A教授

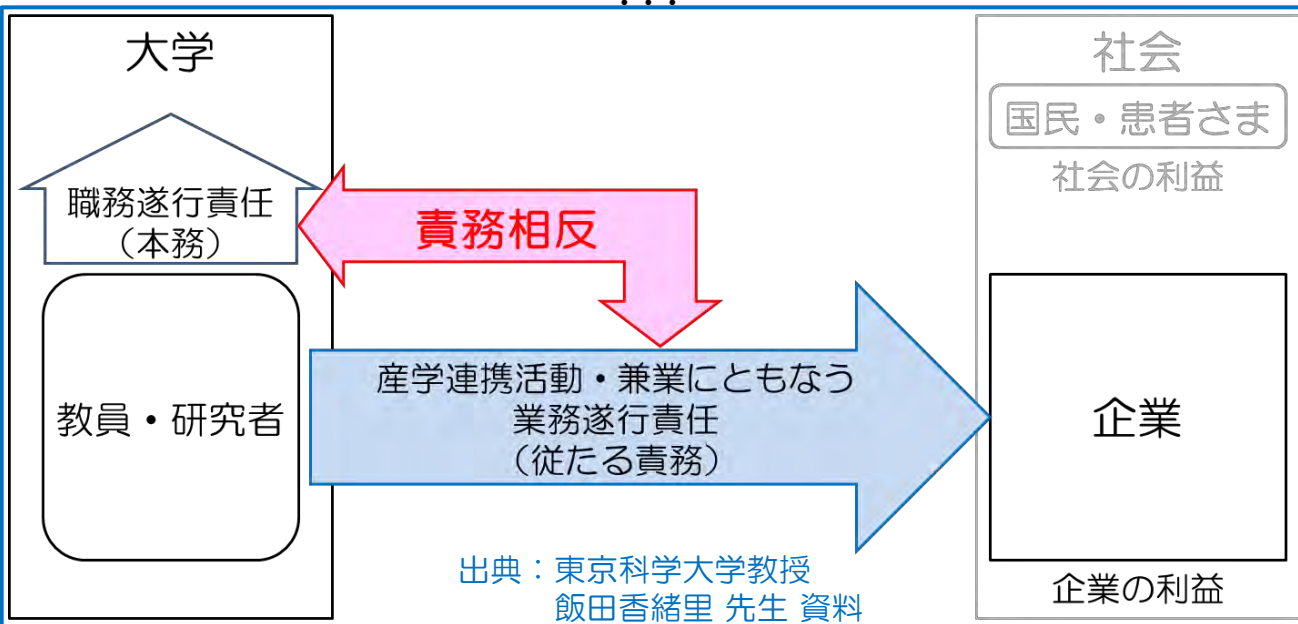
- 公開・未公開株式の保有
- 兼業報酬
- 自身の判断での設備・物品購入
- 個人知財のロイヤリティ収入
- ...



A教授の研究成果に基づくSU



従たる責務  
⇔ 雇用関係



★ NG (=「研究インテグリティの確保」「研究セキュリティの確保」に反する) 行為

## 責務相反

- 本務と従たる職務を混同
- 従たる職務を優先
- 研究成果公表せず、相手先にのみ開示
- 研究成果を相手先に開示

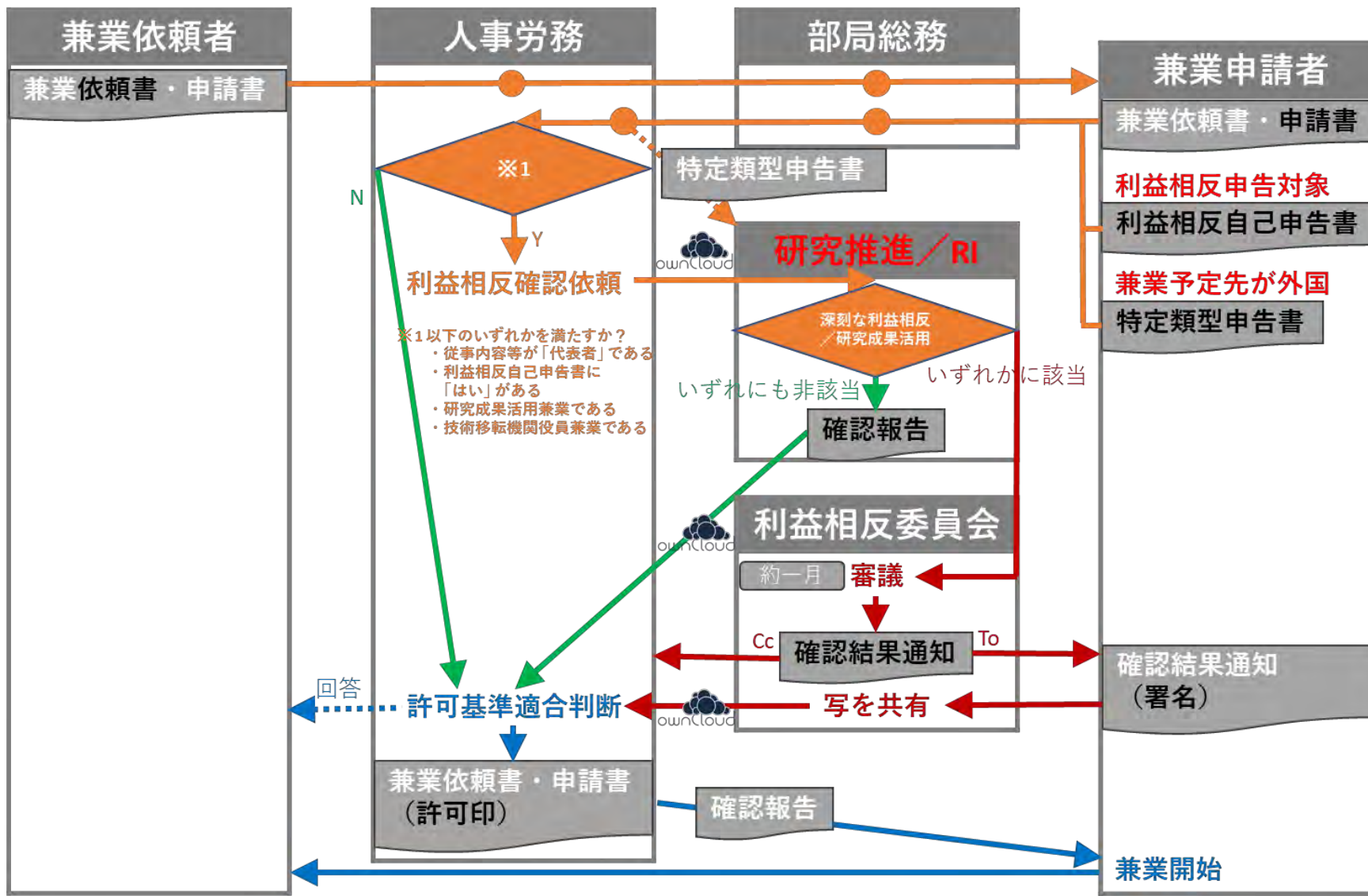
## 安全保障

- 相手先による研究成果の軍事転用
- 相手先による兼業成果の軍事転用

「責務相反 (= 自己申告 難)」「相手先による軍事転用」に留意

# 「研究セキュリティの確保」に向けた三重大学の取組 (1)

## ◆ 「兼業」の申請時 (研究インテグリティに加えて)



法人等の種類	<input type="checkbox"/> 国内の機関・企業等 ( <input type="checkbox"/> 公共的機関 <input type="checkbox"/> 企業等 ) <input type="checkbox"/> 外国政府等又は外国法人等 <small>※区分については、<a href="https://www.crc.mie-u.ac.jp/rm/col/public.html">https://www.crc.mie-u.ac.jp/rm/col/public.html</a>を参照してください。</small>
兼業依頼職員	所属 ( ) 職名 ( ) 氏名 ( )
従事内容等	<input type="checkbox"/> 非常勤講師 <input type="checkbox"/> 非常勤医師等 (医行為を行うもの) <input type="checkbox"/> 代表者 <input type="checkbox"/> その他 <small>※いずれかにチェックの上、以下に具体的内容 (非常勤講師の場合は講義名等) を記載してください。</small> 具体的従事内容 ( )
基幹教員該当の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <small>※大学の非常勤講師の場合</small>
宿日直業務	<small>※従事内容等が当直 (宿直・日直) 業務の場合のみ記入</small> 労働基準監督署の許可を得た宿日直業務に該当: <input type="checkbox"/> する・ <input type="checkbox"/> しない
従事期間	期間: <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 <input type="checkbox"/> 兼 業 許 可 日
従事回数・時間数	期間中・年・月・週 _____ 回, _____ 時間 / 1回 _____ : _____ ~ _____ : _____, ( _____ 曜日) <input type="checkbox"/> その他 _____
報 酬	<input type="checkbox"/> 有 (年収・月収・1回・1時間・その他 ( ) _____ 円、 従事期間における総額 (見込) _____ 円) <input type="checkbox"/> 無 (旅費等実費のみの場合も含む。)
従事場所	
担当者連絡先等	住所 〒 _____ 担当部署・担当者氏名 _____ 電話番号 _____ e-mail _____
回答文書等の要否	<input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要 ( <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> 文書 ( <input type="checkbox"/> 指定様式有) ) <small>※承認の場合は、原則回答しておりません。なお、文書での回答が必要な場合は、宛名を記載した返信用封筒を同封してください。</small>
備考	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ : 代表者が外国人です  <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ : 役員の3分の1以上が外国人です  <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ : 議決権の3分の1以上を外国人・外国政府等・外国法人等が占めています  <small>※技術移転機関を介した技術指導等の場合は、技術指導等を行う相手先の情報を回答してください。</small>

許可申請書 (申請者が記入)

前頁依頼にかかる兼業許可を申請します。

令和 年 月 日 氏名 \_\_\_\_\_

※「法人等の種類」が「企業等」かつ「従事内容等」が「代表者」又は「その他」の場合は、「利益相反等自己申告書 (兼業申請用)」を提出すること。

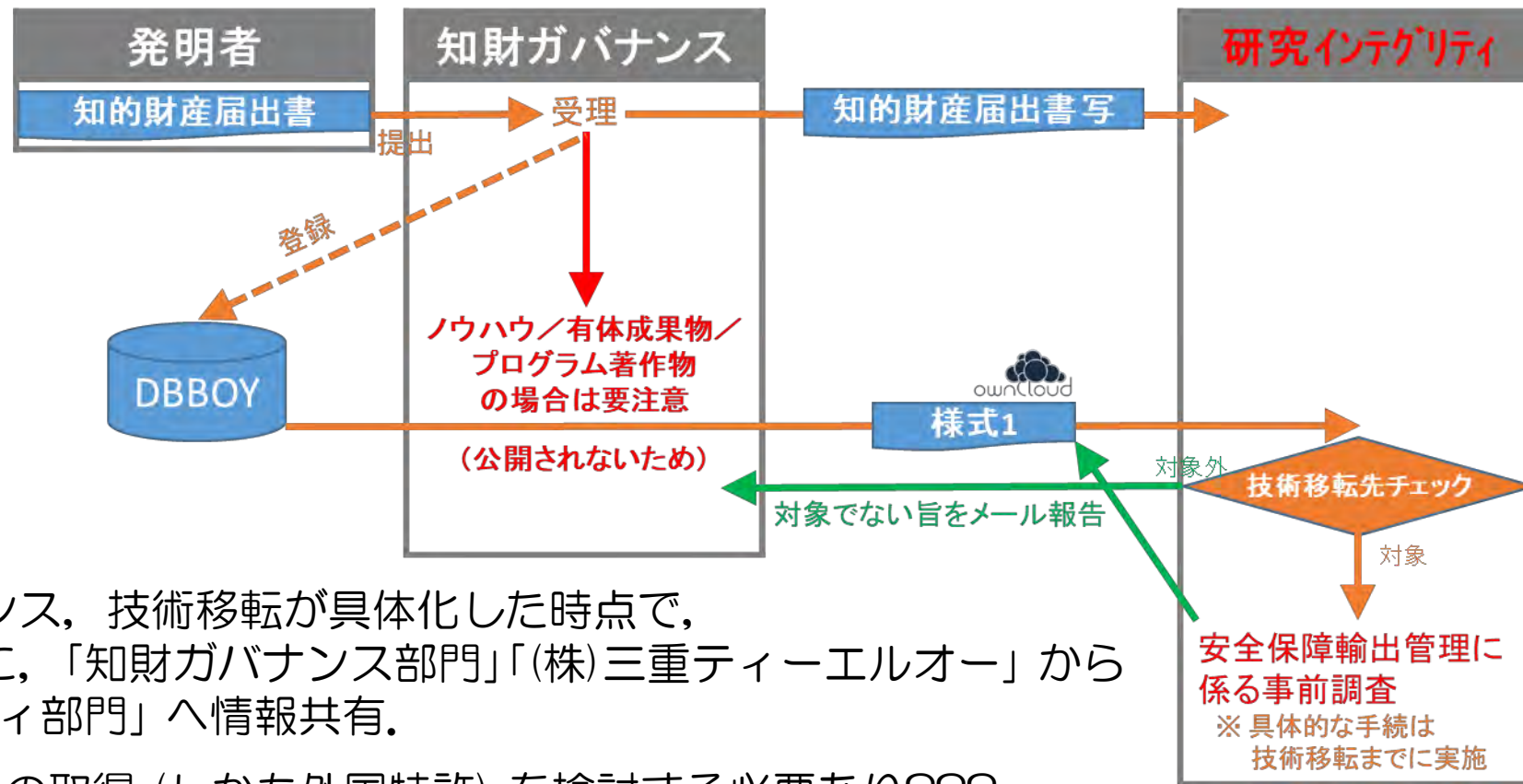
※「法人等の種類」が「外国政府等又は外国法人等」の場合は、「利益相反等自己申告書 (兼業申請用)」及び「特定類型該当性に関する申告書」を提出すること。

※申告書様式は <https://www.crc.mie-u.ac.jp/rm/guide/side-line.html> から最新バージョンをダウンロードしてください。  
上記の件については、差し支えありません。なお、本務と兼業の区別を明確にして実施してください。

令和 年 月 日 国立大学法人三重大学長

# 「研究セキュリティの確保」に向けた三重大学の取組 (2)

## ◆ 知財／技術移転のマネジメントとの連動



- 特許などのライセンス，技術移転が具体化した時点で，交渉／契約の事前に，「知財ガバナンス部門」「(株)三重ティーエルオー」から「研究インテグリティ部門」へ情報共有。
- 大学も「防衛特許」の取得（しかも外国特許）を検討する必要あり???
  - ▶ 従来の「防衛特許」の目的は，自らは実施せず and 他者にも実施させず。妨害特許 (?)
  - ▶ 大学はそもそも「不実施機関」であり，他者への実施許諾のみになるため，「防衛特許」という考え方はなかった。（共願人の企業が「防衛特許」と言うと，クレームをつけることすらあった。）
  - ▶ 海外における軍事転用を差し止めるための「防衛特許」が必要になるかも。本年度，三重大で 1 例あり。

# Gr. 討議 や 今後のお仕事 の一助となりましたら幸いです

研究インテグリティ  
部門

産学官連携における  
秘密情報管理

安全保障  
輸出管理

ABS対応  
(海外遺伝資源)

利益相反  
マネジメント



研究インテグリティ部門

<http://www.crc.mie-u.ac.jp/rm>

## 研究インテグリティ部門について

[概要](#)

[相談窓口](#)

## その他

[マニュアル・様式・規程類](#)

[研究インテグリティ用語集](#)

[中小規模大学・地域圏大学産学官連携リスクマネジメント会議](#)

産学官連携を実施する先生に知っていただきたいこと  
(NDA・MTA・共同研究・受託研究・寄附金・兼業ガイド)

## トピックス

- 改組により組織名が変更になりました。(2024.4.1)
- [令和4年度研究に関するコンプライアンス研修会](#)で、安全保障輸出管理について講演しました。(2023.1.30)
- [第5期ナショナルバイオリソースプロジェクト \(NBRP\)](#) に採択され、分担機関として参画しています。(2022.4.1~2027.3.31)
- 改組により組織名が変更になりました。(2022.4.1)
- 【経済産業省】[安全保障貿易に係る機微技術管理ガイダンス\(大学・研究機関用\)](#)を改訂 (2022.2.4)
- [令和3年度研究に関するコンプライアンス研修会](#)で、安全保障輸出管理について講演しました。(2021.12.20)
- [ABS対応の手続きに関する学内向けリーフレット](#)を作成しました。(2021.9.7)

★ 各種様式なども公開していますが、あくまで、三重大学において用いているものです。